

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくりプロジェクト	実施期間	平成23年度～平成29年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>ライフスタイルの多様化や洋装化等による着物離れの影響を受け、当町の主要産品である丹後ちりめんの生産量は、最盛期の昭和48年に比べ約89%の減となっており、主要産業である織物業の衰退が顕著に現れ、長引く不況もあいまって地域経済も疲弊している現状である。</p> <p>そのような時勢の中で、長い歴史により培われた織物技術を活かし、和装だけに捉われない新たな商品の開発や、日本の伝統文化の一つである着物の素晴らしさを全国にPRする活動等により織物業の活性化を図る。今年度には丹後ちりめんが日本遺産に認定、さらに丹後ちりめん300年に向けてPR活動がされている。</p> <p>また、当町のもう一つの主要産業である農林業、そして豊かな自然を活かした観光や商工業の分野でも振興を図ることで、長引く不況下で疲弊する地域経済の活性化が求められているところである。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>これまで培われた農林業、商工業、織物業、観光の基盤をもとに、「伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり」を目指し、各産業の振興を図るとともに、各産業が連携して新たな活路を見出し、活力が循環するまちづくりを進める。</p>						
	総事業費（千円）	362,776	本年度事業費（千円）	40,355	交付金額（千円）	19,500	
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	海の京都・美心与謝野事業 (観光施設整備・観光振興事業)	交付対象事業	観光施設整備（クアハウス岩滝、大内峠一字観公園、山の家、上司谷公園、森林公園の整備）、イベント実施に対する補助（つじ祭り、海山絶景花火、ひまわりフェスティバル等への補助）		町内5カ所の観光施設整備、町内11団体への助成		
		関連事業	与謝野町観光協会への支援		与謝野町観光協会（観光案内業務補助金、運営費補助金）への支援を実施。18,334千円		
	産業創出交流センター施設整備事業	交付対象事業	産業創出交流センターの施設整備		屋根、扉、畳の修繕。980人の利用人数		
	与謝野ブランド戦略事業	交付対象事業	YOSANOシルクプロジェクト、シンポジウムの実施		YOSANOシルクプロジェクト事業 与謝野ブランド戦略シンポジウムを実施、160人の参加		
関連事業		与謝野ブランド戦略プロモーション事業、YOSANOシルクプロジェクト事業		与謝野ブランド戦略プロモーション事業（かべ新聞うちのまち5回発行）、YOSANOシルクプロジェクト事業（与謝野シルクプロジェクト推進協議会への補助）			
農林業振興対策事業	交付対象事業	有害鳥獣の捕獲・処理、京の豆っこ肥料生産、大豆・米乾燥調製施設整備、リフレかやの里施設整備。		有害鳥獣の捕獲・処理 大型獣1,025頭、小型鳥獣178頭 京の豆っこ肥料生産 製造量264.7t 大豆・米乾燥調製施設整備 糶摺り機取替え リフレかやの里施設整備 昇降機修繕			
住民協働事業	中小企業振興事業	交付対象事業	中小企業振興による地域経済の活性化		創業支援、商業活性化支援、人材育成、新商品開発、販路開拓、雇用促進奨励等 24件		
	織物振興対策事業 (生産基盤支援、織機調整等支援)	関連事業	織機等設備整備への支援		織物織機調整等支援事業補助金（実績件数193件）、織物業生産基盤支援事業費補助金（実績件数51件）		
	自然循環型農業推進事業	関連事業	有機肥料による自然循環型農業の推進		有機肥料（豆っこ肥料）を用いた農業の推進を実施		
	海の京都・美心与謝野事業	関連事業	広域的な観光振興に取り組む		海の京都DMO広域観光推進事業負担金、回遊交通システムの構築実験、地域資源化利用による滞在コンテンツ造成、おもてなし人材の育成、阿蘇海活用型の滞在交流		
	よさのみらい大学事業	関連事業	よさのみらい大学の実施。		1コース2学部で全18回実施。904人の参加者		
	与謝野農業モデル確立事業	関連事業	SOFIXを活用した京の豆っこ米栽培、ホップ栽培の実施		SOFIXを活用した豆っこ米栽培、ホップ栽培しビール化（3,000本）		
住民が取り組む事業							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

成果指標 ①	成果指標の目標数値	有害鳥獣による農作物被害軽減 (H23: 15ha/年⇒H29: 7.5ha/年)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	H29年度: 4.5ha/年	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	侵入フェンスの設置により、有害鳥獣被害面積が減少し、目標数値を達成している。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	-		(時期)	-
成果指標 ②	成果指標の目標数値	京の豆っこ米の作付面積の増加 (H23: ha⇒H29: 132ha)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	H29年度: 132ha/年	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	有機物供給施設（豆っこ肥料工場）の増強工事も実施したことにより、今後さらに増加が見込める。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	-		(時期)	-
成果指標 ③	成果指標の目標数値	観光入込客数の増 (H23: 662千人⇒H29: 800千人)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	H29年度: 459千人/年	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	道の駅の閉鎖と、山陰近畿自動車道の延伸により「通過する町」となりつつある。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	-		(時期)	-
成果指標 ④	成果指標の目標数値	観光消費額の増加 (H23: 5億2,208万円⇒H29: 8億円)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	H29年度: 5.8億円/年	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	観光入込客数の減少に伴い、連動して減少したため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	-		(時期)	-

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

成果指標⑤	成果指標の目標数値	農業の担い手の確保・育成（H23：44人⇒H29：50人）		成果指標の実績値 （30年3月31日時点）	H29年度：44人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	高齢化により担い手数は自然減少の傾向にある	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	—	（時期）
成果指標⑥	成果指標の目標数値	創業企業の増加（H23：5件⇒H29：5件/年）		成果指標の実績値 （30年3月31日時点）	H29年度：3件/年
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	産業振興事業費補助金による新商品・新製品開発の助成を実施しており、平成29年度の実績は3件と前年度から微減したが、毎年度5件程度の申請実績があり、一定の成果が出ているものと思われる。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	—	（時期）
成果指標⑦	成果指標の目標数値	白生地出荷額の維持（H23：30億円⇒H29：30億円/年）		成果指標の実績値 （30年3月31日時点）	H29年度22億円/年
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	従事者の高齢化、売上の減少、後継者不足による廃業が原因と考えられる。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	—	（時期）
成果指標⑧	成果指標の目標数値	新商品・新技術開発への支援（H23：5件⇒H29：10件/年）		成果指標の実績値 （30年3月31日時点）	H29年度3件/年
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	国の産業競争力強化法に基づき、平成27年度に認定を受けた「与謝野町創業支援計画」に基づき、与謝野町商工会及び関係金融機関との連携を行っており、町内創業の機運は高まりつつある。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	—	（時期）

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：与謝野町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>観光分野においては、一定の効果はあったと考えられるが、道の駅の閉鎖があったこと、山陰近畿自動車道の延長により都市部からのアクセスは向上したが通過の町となり観光入込客数、観光消費額は前年度を下回っている。</p> <p>産業分野は、地方創生関連の交付金を活用し「与謝野ブランド戦略事業」、「農業振興施策」、「織物振興施策」を進め、町の基幹産業である農業、織物業、また新たな産業の振興を進めることができ、次年度以降の本格的な取り組みに期待が高まった。</p> <p>農業分野においては、自然循環型農業などの積極的な取組による与謝野町ブランド（「京の豆っこ米」）の知名度の上昇や、有害鳥獣防除施設設置事業による農作物被害軽減効果などにより、農業従事者のやりがいに繋がっている。今後、農業従事者の増加に繋がることを期待する。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>交付対象事業で産業基盤の整備を行い、関連事業では地方創生推進交付金を活用し先進的な取り組みを行ったことにより連携効果が生まれた。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>産業分野は住民生活にも大きく関わる分野であるため、住民自ら積極的に取り組む事業も多く、意識は高い。そういった事業に対して町が様々な支援を行い、住民の取組を活性化している。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>有害鳥獣対策の分野や新たな無農薬栽培農法の研究等、特に農林業分野での新しい取り組みを行い、今ある問題の解決を積極的に行っている。また、シルクプロジェクト、ホップ栽培等新たな産業の創出も図ろうとしている。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>観光施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。</p>
	<p>その他の成果</p>	